

紅

六年

画数 9
筆順 糸 紅 紅
オン コウ・ク
クン ベに・くれない

成り立ち



中国では、色の名前を表すのに、そのことばの発音を表した字に、「糸」を加えるという作り方があります。

「紅」は、「工」という名前の「色」のことを表した字です。それは、「あざやかな「赤い色」のことです。わが国では、「くれない色」とも「べに色」とも言います。

〔糸へんのついた色の名前を表した字の例〕
紫（むらさき）、緑（みどり）、紺（濃紺、紺青）。

使い方

▽運動会の最後の呼び物、紅白リレーは、全校が二つに分かれて争う競技のしめくりになるものですから、いやでも熱狂してしまします。

▽妹は、今年、七五三のお祝いでした。おしろいをつけ、口紅をした妹は、とてもきれいでした。

熟語例

▽紅白（赤い色と白い色のこと。紅白リレーは、赤組と白組との対抗リレーのことです。）

▽紅顔（赤い顔という意味で、「血色の良い顔」をした若い人のことを言い表すのに使います。〔例〕紅顔の美少年）

▽紅潮（赤みがさして来ること。興奮して顔が赤みをおびて来るのを表すのに使います。〔例〕紅潮した顔）

▽深紅（濃い赤。まっか。「真紅」とも書きます。〔例〕深紅の優勝旗）

▽口紅（おけしように、口びるにぬる赤い顔料）

▽紅葉（秋に、木の葉が赤く色づくことを言います。また、赤く色づいた葉のこと。もみじ）

▽紅茶（湯をそそぐと、赤く出るお茶のこと。）

降

六年

画数 10
筆順 降 降 降
オン コウ
クン おりりるりろす・ふりる

成り立ち



崖の形を表した「冫」と、下に向かう足の形を二つ並べた形の「夂」とを組み合わせて作った字です。

「崖を「おりる」ことを表した字です。高い所から下に「おりる」ことを表すのに使います。〔例〕降下、昇降、降誕、降車。

「霜が「降りる」という言い方が、「霜が「降る」とも言われるところから、「ふる」という使い方が生まれました。〔例〕降雨、降雪。

また、「負けて、相手の下につく」ことの意味にも使われます。〔例〕降参、降伏。

使い方

▽テレビでソウル・オリンピックの開会式を見ました。びっくりするほどたくさんの方が、パラシュートで降下して来るのが印象的でした。とくに、空中を降下しながら、五輪のマークを作ったのは見事でした。

▽最近、電車に乗る時、降参する人を見たないで、われがちに電車に乗る人が目立ちます。席をとりたいからでしょうが、見苦しいことです。乗降する時には、降りる人が先というルールを守らなくてははいけません。

熟語例

▽降下（高い所から降りること。）

▽昇降（のぼりおり。「昇降機」といえば、エレベーターのことです。）

▽乗降（のりおり）

▽降誕（神仏や聖人や王さまなどが生まれること。天から人間の世界へ降りて来た、という意味で言います。）

▽降参（車を降りること。）

▽降雨（雨が降ること。）

▽降雪（雪が降ること。）

▽降参（敵に負けること。また、あきらめること。）

使い方

▽テレビでソウル・オリンピックの開会式を見ました。びっくりするほどたくさんの方が、パラシュートで降下して来るのが印象的でした。とくに、空中を降下しながら、五輪のマークを作ったのは見事でした。

▽最近、電車に乗る時、降参する人を見たないで、われがちに電車に乗る人が目立ちます。席をとりたいからでしょうが、見苦しいことです。乗降する時には、降りる人が先というルールを守らなくてははいけません。

▽降下（高い所から降りること。）

▽昇降（のぼりおり。「昇降機」といえば、エレベーターのことです。）

▽乗降（のりおり）

▽降誕（神仏や聖人や王さまなどが生まれること。天から人間の世界へ降りて来た、という意味で言います。）

▽降参（車を降りること。）

▽降雨（雨が降ること。）

▽降雪（雪が降ること。）

▽降参（敵に負けること。また、あきらめること。）